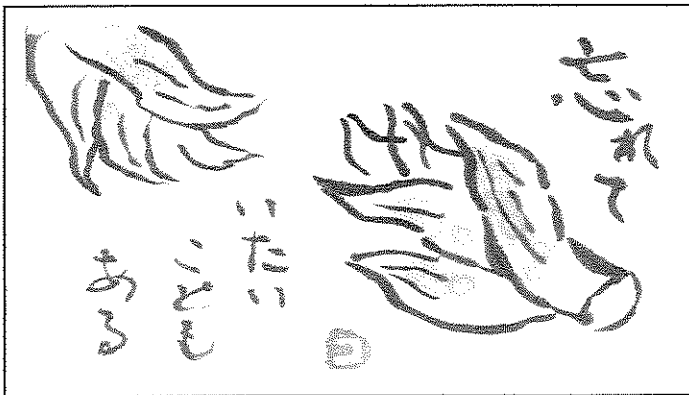


ハート♡メール

男女共同参画社会の実現に向けて

伊丹市立女性・児童センターでは、伊丹市の男女共同参画計画をもとに、さまざまな啓発事業を行っています。6月18日には父親の育児参加促進事業として、女性交流サロンにおいて講座『パパと遊ぼう』を実施しました。小麦粉ねんどを初めて作り、子どもと遊んだお父さんたち。「他のお父さんの考えが聞け、参考になった」「他の子どもとも触れ合えて、よかった」との感想が寄せられました。



また、6月24日には、いたみホールにおいて『伊丹市男女共同参画推進市民フォーラム』を開催しました。基調講演は立木茂雄さん（同志社大学）の「市民社会と日本の家族～ジェンダーの視点から」、そしてパネルディスカッションでは、市民と行政の協働による男女共同参画のまちづくりについて話し合いました。

ひとりひとり 男女が対等 で共に輝くまち 伊丹を②

日本の女性は人口の半分を占め、世界最長寿の健康にめぐまれ、世界有数の高い教育を受けています。しかし、その能力は、社会で十分に活かされているとはいえません。女性の新しい発想や能力を活かす「チャレンジ支援」が求められています。国が2000年に決定した「女性のチャレンジ支援策の推進」では、企業などでの昇進・昇格といった「上へのチャレンジ」、これまでは女性向きでないと考えられていた分野への女性の進出「横へのチャレンジ」、そして、仕事を中断した女性の再就職や社会活動などへの「再チャレンジ」を掲げています。

今月発表された「平成18年版男女共同参画白書」では、結婚や出産・子育てのために退職した女性が希望すれば再就職できる「再チャレンジ」支援の重要性を訴えています。日本の女性の労働力率は、子育ての時期に当たる30歳代前半で低下する「M字型カーブ」を示します。しかし、いったん仕事を辞めるとそれまでのキャリアを活かした再就職は難しいのが現状です。

伊丹市男女共同参画計画では再チャレンジ支援について、▽就労・再就職を支援する学習機会や情報の提供▽起業講座や起業相談などの起業支援▽女性のチャレンジ相談やチャレンジモデルの紹介、サイトの開設——などの具体的施策を盛り込んでいます。 (伊丹市男女共同参画課)

ひと まらつと伊丹の女



伊丹で活躍する素敵な女性をご紹介しますコーナー。

2人目は、染工房 NOBBY (ノビイ) 代表者の前田厚子さんです。知的障害者の描くのびやかな染色に魅せられ、一緒にプロの製作集団でありたいと始めた染色工房は、今年で9年目を迎えました。「障害者の作品」ではなく「染色作家の作品」として、「世界にひとつ」のアートとして、世に送り出されたノビイの作品は、チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト (注) のカタログ販売でも非常に人気が高く、生産が追いつかないほど。今、ノビイは製作集団から複数の作業所と企業をつなぐプロデュース専門のNPO法人化に向けて歩みだしています。* * * * *

ノビイを始めたきっかけは、阪神淡路の震災の年、たまたま付き添った知的障害者の旅行での手染め体験です。力強く、伸びやかな染色に触れて「この作品を今日で終わらせたらかん」と思ったんです。震災で全壊した自宅の再建よりも先に、9月には仲間3人で工房を始めていました。続けていくためには出口(販路)が必要だと考え、家賃、材料費、縫製費などすべての費用を作品の販売で賄い、出資・経営・労働をメンバーみんなで担う協同組合的な運営です。

・・・ノビイを始める前の前田さんは、どんなことをしておられたのですか？

出産までは高校の教師をしていました。4世代同居で家事も子育ても担い手が多い家ということもあって、子どもが3歳ごろから自宅でケーキとパン作りを教えていました。子ども連れの母親たちと一緒に、ケーキを作るだけではなく、子育てのこと、女性の生き方、安全な食についてなどを話し合うサロンのような感じで、震災まで10年ほど続けました。

・・・ノビイはNPO法人になって、どのようなことを目指すのですか？

メンバーの生活の変化や、販売数の飛躍的な増加もあって、活動の見直しをはかっています。賛同する複数の作業所に染色はお願いし、ノビイ自体は工房ではなく、企画や流通のプロデュースをする組織にしたいと考えています。そこから、障害がある人だけでなく誰もが働きやすく、しかも利益が出る働き方(ユニバーサルなワーキングスタイル)を社会に示せるのではないのでしょうか。

・・・伊丹の“お気に入り”を教えてください。

おいしい豆腐はここ、お魚ならあそこ、パンはあの店のパン・ド・ミ、中国料理は……。食にはこだわりがあるので、本当にお勧めできるお店がいろいろありますよ。そんな「伊丹のここが素敵」という情報をいっぱい持った「伊丹市案内人」を養成することが、まちの活性化につながるんじゃないかな。* * * * *

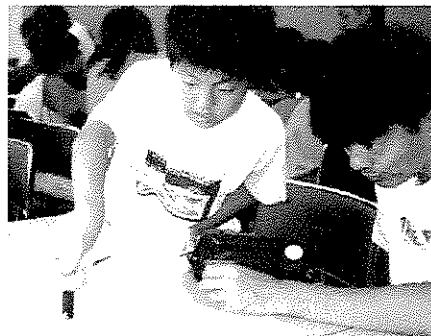
おいしいお店情報、実は詳しく教わって、さっそくパンを買いにいきました。「何が好きか」「何が大事か」「何をしたいか」をはっきりとつかんで、言葉にし、行動していく前田さんの魅力的なリーダーシップに触れ、元気と勇気をいただいたインタビューでした。

(注) チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト (CCP) : チャレンジド (障害者) の自立と社会参画を通じて、すべての人が持てる力を発揮できるユニバーサル社会を実現させることを目的に、フェリシモ、社会福祉法人プロップ・ステーション、兵庫県、神戸市の4者でスタートさせたプロジェクト。

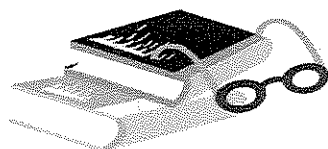
◇ 夏休み子ども一日体験《木工教室・科学教室》 ◇

恒例になりました木工教室・科学教室を今年も開催いたします。不思議・感動・達成感を味わう素敵な場となること間違いなし！夏休みの宿題にいかがでしょうか？（小学生対象）

- ★ 木工教室：7月26日（水）午前10時～12時・午後1時30分～3時30分の2部制。テーブルBOX（壁掛けに変更も可）を作ります。定員は午前・午後共に20名。材料費500円。講師は松井由美子さん。
- ★ 科学教室：7月30日（日）午前10時～12時。テーマは『ばくはつの実験PART2』。シュート棒を作ります。親子でチャレンジしてください。定員は親子40名。材料費300円。講師は中原和文さん。



- ★ 申し込み：往復はがきに希望教室名（木工・科学）、住所、氏名（科学教室は親子共）、学校名、学年、電話番号、希望の時間帯（木工教室のみ）を明記。7月12日（水）必着。応募多数の場合は抽選となります。



サロン図書紹介

交流サロンの図書の貸し出しは、2週間・3冊まで

『ジェンダー・フリー・トラブル
バッシング現象を検証する』
木村涼子 編
白澤社・2005

ジェンダー・フリーという言葉や、性教育に対する攻撃は、なぜ起こったのか。何を目的に行われているのか。男女平等を推進するには、何が必要なのか。9人の論者が検証する中から、現代日本の政治、教育、家族、社会が見えてきます。

「ジェンダー」の視点で社会を見直し、性差別の実質的な撤廃を目指す歩みは、押しとどめる事ができないからこそ、曲解や誇張といった稚拙とも思える攻撃が繰り返されるのではないのでしょうか。いわれない攻撃に臆することなく、基本的人権としての自由・平等を求めて行動したいと勇気づけられました。

『新版 もうひとりで悩まないで！
教師・親のための子ども相談機関利用ガイド』
小林正幸・嶋崎政男 編
ぎょうせい・2005

子どもの心理的な問題で困った教師や保護者に向けて、どの相談機関を利用したらよいのかを案内するガイドブック。

「こころ」「からだ」「学校不適應」「非行」「障害」「学校・家庭の問題」のそれぞれに、具体的な症状をあげ、「どんなことが考えられる？」「こう対応しよう！」「どこに相談する？」の3つについて詳述しています。

子どもの健やかな成長を支えるのは、親だけでも教師だけでもなく、社会全体に責任があります。悩みをひとりで抱え込まず、相談することは子どもにとっても大人にとっても大切なことです。地域活動等、子どもに関わるさまざまな人にも役立つ一冊です。

7月の予定 (休館：4・11・18・25日)

女性交流サロン	*パソコン・ヘルプデスク	2日(日) 14:00～16:00
	*法律相談(面接)	13日(木) 13:00～14:30
		26日(水) 18:00～19:30
	*労働相談(面接・電話)	12日(水) 17:00～20:00
		22日(土) 13:00～16:00
	*一般相談(面接・電話)	6・13・20・27日(木) 13:00～17:00
*フェミニスト・カウンセリング (面接)	14・28日(金) 10:00～17:00	
	5・19日(水) 14:30～19:30	

児童会館	夏の夕べ	15日(土) 16:00～19:00
	けんだま	16日(日) 13:00～
	おはなし会	19日(水) 15:00～15:30
	*夏休み子ども1日体験(木工)	26日(水) 10:00～12:00、13:30～15:30
〃	(科学)	30日(日) 10:00～12:00

8月の予定 (休館：1・8・15・22・29日)

女性交流サロン	*パソコン・ヘルプデスク	6日(日) 14:00～16:00
	*法律相談(面接)	10日(木) 13:00～14:30
		23日(水) 18:00～19:30
	*労働相談(面接・電話)	9日(水) 17:00～20:00
		26日(土) 13:00～16:00
	*一般相談(面接・電話)	3・10・17・24・31日(木) 13:00～17:00
*フェミニスト・カウンセリング (面接)	11・25日(金) 10:00～17:00	
	2・16日(水) 14:30～19:30	

*「ジェンダー平等学習プログラム体験講座」 19日(土) 10:00～15:00

*「女性のためのパソコン教室」(きららホール) 28・29・31日 9:30～12:00

通信の愛称決定!

応募総数27通の中から、伊丹市立天神川小学校6年生、北角恭士さんの「ハートメール」に決定いたしました。

女性・男性・子ども・大人… いろいろな人と人の心をつなぐ通信にしたいと思います。(は)

表紙の絵 : みょうが

絵手紙同好会 橘コスズさん

伊丹市立女性・児童センター通信 No.2

発行 2006年7月1日

伊丹市立女性・児童センター

指定管理者 無限責任中間法人伊丹市連合婦人会

〒664-0855 兵庫県伊丹市御願塚6丁目1番1号

TEL(072)772-1078 FAX770-4728

女性交流サロン TEL・FAX(072)772-7248

休館日：火曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)